

心不全ってなに？

肺高血圧症が進行すると、血管の内腔が狭くなり血液の流れが悪くなるため、心臓が血液を送り出すためにより大きな力が必要となります。この心臓への負荷がかかった状態が続くと心臓は疲れてしまい、血液を送り出す力が次第に低下します。

その結果、体が必要とする血液を送り出すことができなくなります。これが心不全と呼ばれる状態です。

医療機関名・連絡先

沢井製薬株式会社

よくわかる肺高血圧症

肺高血圧症には どんな症状があるの？

総監修 慶應義塾大学医学部 循環器内科 教授 福田 恵一 先生
監修 九州大学病院 循環器内科 助教 阿部 弘太郎 先生



肺高血圧症には どんな症状があるの？

肺高血圧症による症状は、心不全によるものです。

初期の代表的な症状として、**身体活動時の息切れ**がみられます。

さらに心臓の機能が低下し病気が進行すると、**安静時にも息切れ**が現れ、その他様々な症状が起こります。

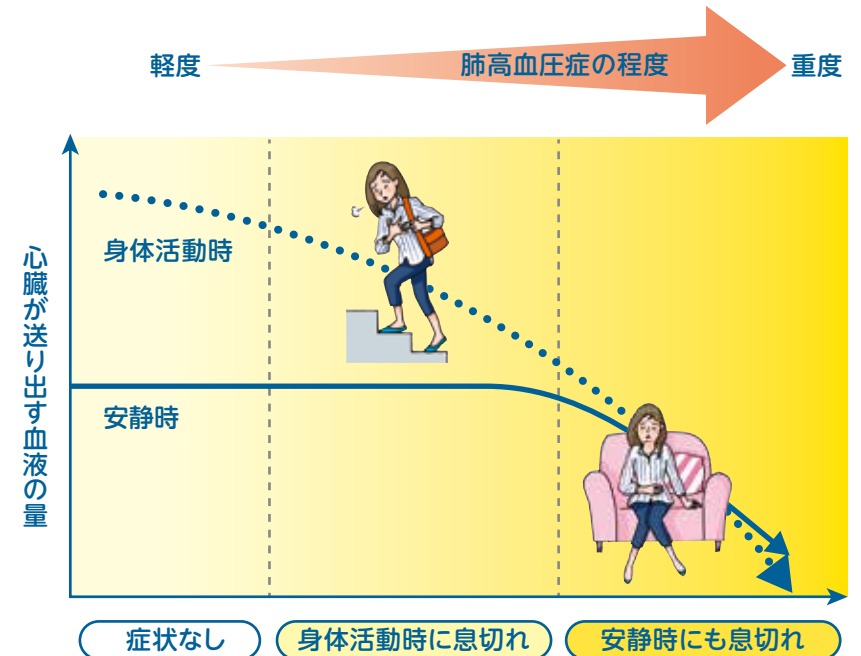
自覚症状

- 息切れ
(初期は身体活動時、進行すると軽い身体活動時や安静時にも)
- 疲労感、倦怠感
- 身体活動時の胸の痛み
- 立ちくらみ、めまい
- 動悸
- 顔や足のむくみ
- せき
- 喘鳴ぜんめい(ゼーゼーする)
- 失神



肺高血圧症に特徴的な自覚症状ではありませんが、上記のような症状がみられる場合、肺高血圧症の可能性がります。

肺高血圧症の程度と 心不全症状の関係



肺高血圧症の初期では身体活動時の息切れなどの症状が現れます。さらに病気が進行すると、軽い身体活動時や安静時にも息切れを自覚するようになります。

自覚症状が出た時点では既に、心臓への負荷が大きくなっている可能性がありますので、早い段階で医師にご相談ください。